

2022（令和4）年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1495300301	事業の開始年月日	平成26年12月1日
		指定年月日	平成26年12月1日
法人名	ヒューマンライフケア株式会社		
事業所名	宇奈根グループホーム		
所在地	(〒213-0031) 神奈川県川崎市高津区宇奈根633-2		
サービス種別 定員等	■ 認知症対応型共同生活介護	定員 計 18 名 ユニット数 2 ユニット	
自己評価作成日	令和4年11月14日	評価結果 市町村受理日	令和5年3月13日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

スタッフがご入居様とゆっくり過ごす時間を作り、お一人おひとりのお気持ちに寄り添いながら支援しております。
ご入居様にも出来ることをして頂きながら、手作りでの食事提供をしております。
又、大家さん所有の畑にて果物狩りや、中庭で野菜を育てることで季節を感じて頂いております。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵠沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和4年12月14日	評価機関 評価決定日	令和5年2月15日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所はJR南武線「久地」駅徒歩12分の生産緑地指定の農地が点在する住宅街の広いエントランスがある鉄筋3階建てのクリーム色の建物です。1階は同法人の小規模多機能型居宅介護事業所で2、3階が同ホームです。近くに多摩川、薬局、商店、高校、なし、もも、ブドウ園などもあり散歩が楽しみとなっています。
<優れている点>
同施設の理念にもとづき入居者の「あなたの立場」を大切にし、「ゆっくり過ごす時間づくり」をしています。訪問看護師や協力医療機関との連携が良く健康管理・投薬管理などきめ細かな医療サポート体制ができています。同法人のテクニカルマイスター制度を活用して職員の支援技術の向上、資格取得支援制度を活用した人材育成に努めています。
<工夫点>
居室担当が中心となり「宇奈根通信」を発行しています。今月の様子や、ヒヤリ・ハット報告、往診・健康管理・利用者の写真などを送り入居者と家族との連携を作っています。コロナ禍でも若いスタッフが中心となり工夫したレクリエーションで室内での楽しみも作っています。素材を活かして季節に沿った食事を提供したり、毎月の「お楽しみ食事会」の開催で楽しい食の時間をつくり喜ばれています。コロナ禍でも早くから家族の要望を受けて「玄関先での面談」を実施しています。タブレット端末を活用した介護記録が全面的に稼働を始め、記録等の電子化・省力化を進めています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ～ 14	1 ～ 10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ～ 22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ～ 35	12 ～ 16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ～ 55	17 ～ 23
V アウトカム項目	56 ～ 68	

事業所名	ヒューマンライフケア宇奈根グループホーム
ユニット名	

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1, ほぼ全ての利用者の
		○	2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ全ての家族と
		○	2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		○	3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
		○	3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1, ほぼ全ての職員が
		○	2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
		○	2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	以前からの理念については共有している。 現在在籍しているスタッフと、改めてホームの理念を作成しようとしている途中となっている。	入居者を尊重しながら、笑顔で楽しく「ここに来てよかった」と言われるようなホーム運営をすることが職員の願いとなっています。理念から日々の具体的な目標におろして取り組めるように今年度は創立以来の理念の再検討を進めて、今年度中には作成する予定です。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	現在は果物狩りや移動パン屋さんでの定期的な購入をしている。 町内会の行事にも参加しようとしているが、行事自体が、中止となっているため実際には参加できていない。	自治会に加入し、事業所のオーナーでもある自治会会長とも連絡、相談ができる関係となっています。コロナ終息後には地域の活動の参加や、事業所の行事に地域の人を招待して関係性の再構築を考えています。職員から地域に向けてのバザーの催しの提案もあります。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	コロナの影響により、発信の場を設けられていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	書面での開催となっているが報告している。	コロナ禍の書面会議を12月からホーム対面会議に戻しています。複数の家族、地域代表や地域包括支援センター職員の参加が予定され、行事、事故、ヒヤリハット、その他の特記事項を話し合う予定です。会議の報告は構成委員や家族へ送付しています。	運営推進会議の議事録に構成委員の氏名、参加状態と出された意見等が明示される事が期待されます
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	蜜ではありませんが、川崎市や神奈川県からのメールは毎日確認し、必要に応じて連絡をとりながら進めています。	生活保護の申請での来訪、「川崎市メール」での情報収集、電話での相談や指導・助言を受けています。インフルエンザの接種の報告やコロナ禍ではマスク、温度計、血中酸素濃度測定器(SPO2)やPCR検査キットなどの支援も受けています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	3ヶ月に一度の委員会の開催と、スタッフへの研修で身体拘束をしないケアに取り組んでいます。	身体拘束等廃止委員会の開催や職場研修を行い周知に努めています。職員は入居者が「自分で動いた」感覚を大切にしています。「チェックシート」を活用して拘束をしないケアについての振り返りと発生防止に努めています。新人職員には担当の先輩が個別に「交換日記」で成功体験に繋がるサポートをしています。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止研修の実施と原因不明の痣や外傷については、スタッフがケアの際にチェックし、記録・報告するとともに原因や対策を検討する機会を設けている。	虐待防止委員会の開催と年2回の職員研修を行っています。気持ちだけでなく、先輩職員の実体験を通じて虐待をしない、見過ごさないケアについて学んでいます。「自己点検シート」も活用して振り返りの機会と自己覚知に努めています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	ご家族からお話があった際に、話し合えるスタッフがいる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項についての説明とご契約内容等について説明を行い、疑問点等があれば説明するようにしています。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に目安箱を設置しています。また定期的にアンケートを実施しています。	コロナ禍の中でも家族の要望で面会を再開しています。家族とのコミュニケーションは「宇奈根通信」を活用して居室担当が入居者・家族の思いや意見・要望を電話等で聞く機会をもっています。運営推進会議にも複数の家族の参加があります。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月のミーティングで聞く機会を設けています。	業務日誌を中心に毎月フロアごとにミーティングを行い、話し合っています。必要な事は毎月の全体ミーティングでも話し合い、全体共有をしています。職員が互いを「尊重」して助け合う関係を大切にしています。個人面談の機会もあります。	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	半期に一度の目標設定と評価を実施しています。	勤務のシフト作成は話し合いのうえ、「助け合い」も加味されたシフト表で運用しています。休息時間にゆっくり休めるよう休息室も設けています。職員育成のための法人によるマイスター制度を構築し、今年10月に優れた施設運営として二つ星の認定を受けています。	
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	会社独自のマイスター制度があり、力量に合わせた段階の取得を進めています。	同法人の人材育成制度があります。ブロンズ・シルバー・ゴールド・プラチナ」と4段階に明示され、目標と到達点が開示され、自己啓発やモチベーションアップの機能と介護の質の向上に役立てています。「目標シート」により定期個人面談もしています。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	特にありません。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	利用前の面談と、入居後すぐからは、ご本人様とゆっくり過ごす時間を設け、不安やご要望等を伺った際には記録に残し、他スタッフと共有して関係を築く様にしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	見学やご契約前の面談、ご契約時にご意見やご要望を伺う時間を設け、安心して頂ける様話し合いをさせて頂いています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	それまで利用していたサービスやご本人様の心身状況に合わせた支援をスタッフへ共有し、対応するようにしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	出来ること得意なことをして頂ける環境作りに努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	健康状態やご本人様のご希望等を伝え、ご家族のご希望も伺いながら、支援しています。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	電話や手紙での交流は、ご要望に応じて実施していただいています。	耳が聞こえづらい利用者の馴染みの人との電話の取り次ぎ支援をしています。出身地の話や行事、歌謡曲による思い出から懐かしい当時の話題に繋がるよう一人ひとりの生活歴の把握に努め支援をしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	席配置に工夫したり、協力して行うレクリエーションの実施、時には傾聴するなどして良好な関係を続けて頂けるように支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約が終了した方のご家族からの連絡にも、ご要望に応じてサービス提供記録の提出やお話を伺うなどしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のケアの中でご希望や意向が汲めるようにコミュニケーションをとりながら、申し送りやミーティングにて他スタッフとも共有している。	日々の様子を時系列に記録し、モニタリング会で「今の思い」の把握に努めています。「自分でできた、動けた」を大事にし「遅くても丁寧に」を大切に支援しています。「普通に食べたい」の思いから、医師の指導でミキサー食から刻み食に戻すことが出来た事例もあります。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族やご本人様から伺った生活歴等を、フェイスシートに記載し、共有しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の記録や申し送りにて現状を把握するように努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	3ヶ月に一度モニタリングを実施しています。	介護計画は、作成者が家族や職員の意見を聞き作成し、短期目標3ヶ月、長期目標を6ヶ月ごとにモニタリングをして見直しをしています。日々の様子は、タブレット端末に時系列で細かく記録し紙面での介護計画の目標と照らし合わせをしながら支援しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の記録の確認と申し送りにて共有し、ミーティングにて話合ったことを活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	福祉用具の取扱い、マッサージ事業所の開設があり、ご要望に合わせて取り入れられるようにしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	ご要望に応じて近くのコンビニエンスストアやドラッグストアへの買い物同行等を実施しています。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	週1回の訪問看護、訪問歯科と月2回の往診があり、必要に応じてかかりつけ医からご家族へご連絡していただきながら支援しています。また緊急時には24時間連絡ができる体制が整っています。	月2回、法人の医師と看護師の診察を受けています。薬剤師による、薬の指示や説明や、歯科医師からの口腔ケアについて食事の形態の相談も受けています。必要な時には医師から「指示書」による、入浴、食事、夜間の対応を配慮の上、ケアをしています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週1回の訪問看護にて看護師へ伝え、看護師や医師の指示を共有しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時のサマリーの提出と受取をしています。 現在はコロナの関係で面会ができませんので、電話にて状況を伺うようにしています。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化やお看取りの際の方針を契約時に取り交わしています。 また実際に必要になった際はご家族、医療関係者とともに再度方針を話し合い、納得して頂いた上で支援しています。	入居時に家族に説明と承諾を得ています。容態が変容した場合は医師より家族に説明し、意向の再確認をしています。看取り研修をして今年は看取りの実績があります。最期まで声かけをし、見守りながらお見送りをしています。家族からも感謝の言葉を受けています。	一人ひとりの状態に合わせた具体的なケアについての研修をさらに実施することが期待されます。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	職員が日々目にするように事務所へ掲示しています。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的な避難訓練の実施と避難場所の確認、災害計画書の作成と共有をしています。	年2回防災訓練を計画し、1回目は火災・地震訓練を実施し消防署の助言を受けています。同日に備蓄品の確認も行います。多摩川が近くにあり、防波堤決壊時を想定した避難方法や小学校までの避難訓練も検討しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	発言を否定したり、無理強いすることがないよう、スタッフ一人ひとりが気を付けています。 居室内はご本人様のプライベート空間として、スタッフも許可を得てから入室するようにしています。	個々の人格を尊重し、言動からその時の気持ちを聴き、無理強いをすることなく心に余裕を持って接しています。 趣味、得意なことを認め、家族の了解を得て包丁を使用した料理や、茶碗拭き、盛り付け、繕い物などを依頼し、見守りながら支援しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日頃からコミュニケーションをとり、話しやすい雰囲気作りに努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	眠れない時は、無理に寝てもらおうのではなく、ゆっくり過ごして頂きながら、眠くなったら寝ていただく、レクリエーション等も無理強いするのではなく、参加したいときにしてもらうようにしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご自分で選べる方には選んでいただく、ご家族から好きだったと伺った衣類を勧めるなど支援しています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	盛り付けや食器の片付け、出来る方には野菜を切ってもらいながら、手作りの食事を楽しんで頂いています。	委託業者より献立表・食材が届き、職員の手作りで朝昼夕食を提供しています。野菜を切る音や香りなども五感の刺激を受け、食事を楽しむ一つとなっています。「お楽しみ食事会、誕生会」で提供する、職員の手作りケーキや寿司、ハンバーグも利用者の喜んでもらえるメニューとなっています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	必要に応じて医療職と相談しながら、食形態や量等調整しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後実施しています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	尿意のない方への定時の排泄誘導、Pトイレの使用等をして頂いています。	8月よりタブレット端末を利用し、1日の食事量、便、尿、水分量、服薬、口腔歯磨きを記録し、職員で共有しています。個々の排泄は、記録を参考にして声掛けをしています。腰の痛みで立位姿勢が困難な入居者には二人介助をし、トイレで排泄できるよう支援しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	お茶が進まない方へは、ジュースやコーヒーを提供したり、便秘気味の方へはヤクルト等の飲み物を提供しています。 また朝、昼、夕と体操を提供しています。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	週2回の予定日は決まっていますが、体調や気分等で変更しています。	浴室とトイレが隣接しており、排泄で失禁した場合にもすぐにシャワーや入浴対応可能な体制となっています。利用者の思いに寄り添い、「もう出ます。」まで急かすことなくゆったりとした支援することを心掛けています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	お一人ひとりの習慣に合わせて、時間を決めずに就寝介助を実施したり、自由に午睡ができるよう支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	医師の指示をノートに貼り付け、変更等があった際には、ノートにも記載し、スタッフがいつでも確認できるようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	お一人おひとりの得て不得手やお好みに合わせた家事やレクリエーションの提供をしています。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナの影響により、遠方へは行けていませんが、散歩や外気浴は出来る限りして頂くようにしています。	施設周りは広い歩道や、車の往来が少ない道路となり、安心して散歩できる環境となっています。コンビニエンスストアや薬局での買い物や、ぶどう・ミカン狩りにも出かけています。庭の畑では、季節の野菜を植え、水やりや草取りの作業で気分転換を図ることもできています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご自身で買い物に行っていただくことはできていませんが、ご希望の物を伺いスタッフが代行しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	手紙や電話のご希望には応じています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ダイニングに皆さんで作成していただいた季節の物を飾って、季節を感じて頂くようにしています。	リビングは、南に面し大きな窓から陽が差し込み、明るい空間となっています。湿度や換気にも配慮し、体操やレクリエーションを行う場所となっています。広く長い廊下では歩行訓練をしています。職員と協力して作った七福神、節分、桜の木の大きな貼り絵を壁に掲示し、話題づくりの材料としています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ご希望にあわせて食席を変えたり、ソファを設置して自由に使用していただけるようにしています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室のレイアウトや家具は、出来る限りご本人様やご家族様のご希望に沿うようお手伝いしています。	居室入り口に花と利用者の名前の名札が掛けて、利用者が「私の部屋はバラの部屋よ」など理解することができるような工夫をしています。介護ベッド、エアコン照明、防炎カーテン、クローゼット、整理タンスを備えています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	バリアフリーになっており、廊下、洗面所、トイレなどに手すりを設置しています。		

事業所名	ヒューマンライフケア宇奈根グループホーム
ユニット名	

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1, ほぼ全ての利用者の
		○	2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ全ての家族と
		○	2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		○	3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
		○	3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1, ほぼ全ての職員が
		○	2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
		○	2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	以前からの理念については共有している。 現在在籍しているスタッフと、改めてホームの理念を作成しようとしている途中となっている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	現在は果物狩りや移動パン屋さんでの定期的な購入をしている。 町内会の行事にも参加しようとしているが、行事自体が、中止となっているため実際には参加できていない。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	コロナの影響により、発信の場を設けられていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	書面での開催となっているが報告している。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	蜜ではありませんが、川崎市や神奈川県からのメールは毎日確認し、必要に応じて連絡をとりながら進めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	3ヶ月に一度の委員会の開催と、スタッフへの研修で身体拘束をしないケアに取り組んでいます。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止研修の実施と原因不明の痣や外傷については、スタッフがケアの際にチェックし、記録・報告するとともに原因や対策を検討する機会を設けている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	ご家族からお話があった際に、話し合えるスタッフがいる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項についての説明とご契約内容等について説明を行い、疑問点等があれば説明するようにしています。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に目安箱を設置しています。 また定期的にアンケートを実施しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月のミーティングで聞く機会を設けています。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	半期に一度の目標設定と評価を実施しています。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	会社独自のマイスター制度があり、力量に合わせた段階の取得を進めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	特にありません。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	利用前の面談と、入居後すぐからは、ご本人様とゆっくり過ごす時間を設け、不安やご要望等を伺った際には記録に残し、他スタッフと共有して関係を築く様にしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	見学やご契約前の面談、ご契約時にご意見やご要望を伺う時間を設け、安心して頂ける様話し合いをさせて頂いています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	それまで利用していたサービスやご本人様の心身状況に合わせた支援をスタッフへ共有し、対応するようにしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	出来ること得意なことをして頂ける環境作りに努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	健康状態やご本人様のご希望等を伝え、ご家族のご希望も伺いながら、支援しています。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	電話や手紙での交流は、ご要望に応じて実施していただいています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	席配置に工夫したり、協力して行うレクリエーションの実施、時には傾聴するなどして良好な関係を続けて頂けるように支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約が終了した方のご家族からの連絡にも、ご要望に応じてサービス提供記録の提出やお話を伺うなどしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のケアの中でご希望や意向が汲めるようにコミュニケーションをとりながら、申し送りやミーティングにて他スタッフとも共有している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族やご本人様から伺った生活歴等を、フェイスシートに記載し、共有しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の記録や申し送りにて現状を把握するように努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	3ヶ月に一度モニタリングを実施しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の記録の確認と申し送りにて共有し、ミーティングにて話合ったことを活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	福祉用具の取扱い、マッサージ事業所の開設があり、ご要望に合わせて取り入れられるようにしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	ご要望に応じて近くのコンビニエンスストアやドラッグストアへの買い物同行等を実施しています。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	週1回の訪問看護、訪問歯科と月2回の往診があり、必要に応じてかかりつけ医からご家族へご連絡していただきながら支援しています。 また緊急時には24時間連絡ができる体制が整っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週1回の訪問看護にて看護師へ伝え、看護師や医師の指示を共有しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時のサマリーの提出と受取をしています。 現在はコロナの関係で面会ができませんので、電話にて状況を伺うようにしています。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化やお看取りの際の方針を契約時に取り交わしています。 また実際に必要になった際はご家族、医療関係者とともに再度方針を話し合い、納得して頂いた上で支援しています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	職員が日々目にするように事務所へ掲示しています。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的な避難訓練の実施と避難場所の確認、災害計画書の作成と共有をしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	発言を否定したり、無理強いすることがないよう、スタッフ一人ひとりが気を付けています。 居室内はご本人様のプライベート空間として、スタッフも許可を得てから入室するようにしています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日頃からコミュニケーションをとり、話しやすい雰囲気作りに努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	眠れない時は、無理に寝てもらうのではなく、ゆっくり過ごして頂きながら、眠くなったら寝ていただく、レクリエーション等も無理強いするのではなく、参加したいときにしてもらうようにしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご自分で選べる方には選んでいただく、ご家族から好きだったと伺った衣類を勧めるなど支援しています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	盛り付けや食器の片付け、出来る方には野菜を切ってもらいながら、手作りの食事を楽しんで頂いています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	必要に応じて医療職と相談しながら、食形態や量等調整しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後実施しています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	尿意のない方への定時の排泄誘導、Pトイレの使用等をして頂いています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	お茶が進まない方へは、ジュースやコーヒーを提供したり、便秘気味の方へはヤクルト等の飲み物を提供しています。 また朝、昼、夕と体操を提供しています。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	週2回の予定日は決まっていますが、体調やご気分等で変更しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	お一人ひとりの習慣に合わせて、時間を決めずに就寝介助を実施したり、自由に午睡ができるよう支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	医師の指示をノートに貼り付け、変更等があった際には、ノートにも記載し、スタッフがいつでも確認できるようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	お一人おひとりの得て不得手やお好みに合わせた家事やレクリエーションの提供をしています。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナの影響により、遠方へは行けていませんが、散歩や外気浴は出来る限りして頂くようにしています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご自身で買い物に行っていただくことはできていませんが、ご希望の物を伺いスタッフが代行しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	手紙や電話のご希望には応じています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ダイニングに皆さんで作成していただいた季節の物を飾って、季節を感じて頂くようにしています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ご希望にあわせて食席を変えたり、ソファを設置して自由に使用していただけるようにしています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室のレイアウトや家具は、出来る限りご本人様やご家族様のご希望に沿うようお手伝いしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	バリアフリーになっており、廊下、洗面所、トイレなどに手すりを設置しています。		

2022年度

目標達成計画書

事業所名

作成日： 2023年 3月 7日

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた 具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	2	地域に根付いたホーム作りの為、町内会の行事への参加や近隣の方を招いた催しを企画しましたが、新型コロナの影響もあり実施できていません。	2023年度中に地域行事への参加と地域の方を招いた催しものの開催をしたいと思います。	回覧板を活用し、地域の行事にスタッフ有志にて参加していきます。 ご入居者様と小物制作等を実施し、バザーを開催できる準備を致します。	12 ヶ月
2	19	ご家族様よりスタッフの顔は判るが、名前が判らないとの意見を数件頂いております。	ご家族様にスタッフの名前を憶えていただく取り組みをします。	スタッフ紹介のボード作成やホームページを利用したのスタッフ紹介等に取り組む予定です。	12 ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月